

Famille Bulletin

ファミール ブルティン

文化の香るふれあいの街ファミール

平成29年10月1日発行:ファミールハイツ明石自治会広報部

vol.62



秋祭り・西明石まつり

秋祭り・西明石まつり部 部長

皆さんで楽しんだ「サマーフェスティバル」も終わり、次は秋祭りの順番となりました。サマーフェスティバルは、担当役員さんの熱心な活動により大盛況に終わりました。私たち、まつりの担当役員も負けないよう努力してまいりますので、一人でも多くの方が参加いただくようお願いいたします。

今年も林神社への宮入りを【10/15(日)】・西明石まつりのみこしパレードへの参加を【10/21(土)】に行います。

宮入りは、林神社で毎年おいしいお弁当を皆さんと一緒に食べた後、和坂の勇壮な布団太鼓の宮入りを見、ファミールのみこしの宮入りを行い、ファミール全住人の家内安全・世界平和を祈願します。西明石まつりでは、花園校区の町内から出るみこしと一緒に商店街を練り歩き、駅南広場で練り合わせを行います。今年のファミールの子どもみこしは、三木市の自治会より譲り受けた新しいみこしで練り歩きます。

駅南広場では、有志の方々に握っていただいた、おむすびをいただきます。そしてファミールに帰ったら毎年恒例の美味しいカレーが待っています。

担当役員も6月からこの日のために準備をしてきました。

是非まつりに参加して住民同士の交流を深めてはいかがでしょうか。

多くの皆さんの参加をお待ちしています。

サマーフェスティバル



会長

8月26日(土)。早朝降った雨も7時ごろには止んでくれました。曇り空に多少の心配もありましたが、やや涼しい一日で、かえって好都合でした。

明石市長、副市長、局長をはじめ明石コミュニティ創造協会、社会福祉協議会、明石ケーブルテレビ、西明石南商店街事業協同組合、ボランティアはなぞの、望海校区自治会長、PTAの役員さんなど各方面から大勢のご来場がありました。そして、感想文をいただきました。

子ども縁日では、子ども店長さんが大活躍で、なかなかの盛況でした。少子高齢化で子どもの数が減り、子ども会役員の数も少なくなりました。その中で、会長を中心にいろいろ工夫して、子どもたちに楽しいイベントを計画してくれています。それをカバーするのは、今回のような高学年の子どもたちの頑張りです。これからのファミリー子ども会が目指すのは、子ども主役の子ども会との考えのもと、努力されている役員さんたちのご苦労が伝わります。

今年もサマーフェスティバルは、サマーフェスティバル部の企画どおり、役員全員と有志のサポーターの協働で、準備万端、予定どおり運び、盛況のうちに終了しました。

参加は、壺番館41.2% 式番館41.2% 参番館45.5% 全体では、42.1%でした。地産地消の大声が聞かれる中、地域とともに活発なまちづくりをめざして近辺のお店にも出店協力していただき、おいしいものを安価で提供してもらいました。自治会屋台ともどもすべて完売しました。関係者のみなさま、本当にご苦労様でした。

明石ケーブルテレビから事前に見どころを聞かれ、①子ども縁日で子どもによる自主運営 ②自治会役員たちの活動 ③会場で発生したごみ処理の仕方を挙げました。今回取材に来られたチームは、明石ケーブルテレビのチームではなく、協会に所属している特別チームで、要請により全国各地の催物の収録に行っているとのこと、私から自治会のサマーフェスティバルの運営についての感想を質問しました。

- ① みんながよくまとまっていて、キビキビ仕事をしている。日常の仕事のような印象で他所では見られない。
- ② よくまとまっているチームは、トラブルが起こってもそれに派生するトラブルは全く起こらない。まとまっていないチームは、何かことが生じた時、慌てて大声でなったりお互いのせいにするのでよくわかる。
- ③ ゴミ処理は、聞いてはいたが、整然としてゴミなど皆無なのには、驚いた。

とのことでした。

放映時間はわずかでしたが、子どもを中心に大勢で楽しく踊る盆踊りや屋台の風景、子どもたちへのインタビューなどが映されました。

私には、最後にキツイ質問がありました。『目指す将来の自治会は?』と。

『西明石に住むならファミリーと言われるようなマンションであること。入居して、自治会に入会したら一生安心して心豊かに暮らせると言われるような自治会にしたい』と答えました。

3か月前から企画など苦労され、イベントを終えた直後の役員さんの感想です。ご苦労様でした。

サマーフェスティバル部 会長

8月26日。緊張の1日でしたが、お陰様でサマーフェスティバルを無事に開催することができました。同日に明石で納涼フェスティバルが開催されると聞き、不安もありましたがファミリーの住人の皆さんの参加率は昨年同様の42%、自治会屋台も大盛況で、前年度とほぼ同じ売上を出すことができました。

今年度は皆様に喜んでいただけるよう、大抽選会の景品にコシヒカリとご当地カレーセット、フリーズドライお味噌汁など、各家庭にあると便利な商品を選び、ビンゴの景品では話題のうんこドリル、ハンドスピナーなどを用意しました。

盆踊りではたくさんの人が輪に加わり、皆さんが楽しそうに踊っていらっしゃる光景は、見ているだけで顔がほころびました。

電気トラブルでご迷惑をお掛けしましたが、皆さんの楽しそうな様子を見ることができて本当にうれしかったです。

当日朝早くからご協力いただいた役員の皆様、おまつりくらの皆様、たくさんの有志の皆様のお蔭で、無事にサマーフェスティバルを開催することができました。

暑い中、快く協力して下さった皆様には、感謝の気持ちいっぱいです。

本当にありがとうございました。

サマーフェスティバル部

私個人として、自治会の担当役員を務めさせていただくのは初めての経験であり、その中でサマーフェスティバル部に配属されたのも初めてであれば、サマーフェスティバルに参加したのも、ほぼ初めての経験でした(子どもが小学生の時に縁日に連れていったことはありますが...)。

ということで、何から何まで初めてづくしのサマーフェスティバルに、不安が一杯で、部の事前打合せが、回を重ねることに憂鬱になる反面、顧問・部長をはじめ部員の方々の「頑張り」に、ただただついていくのが精一杯でした。しかし、当日の準備では、自治会役員だけでなく、多くの方々の協力で滞りなく準備が進んでいき、本番に突入する様子を目の当たりにし、心強い「プロ集団」だなと感心至極でありました。これこそが「ファミールの輪」なんだと気づかされた瞬間でもありました。

部員の方には、仕事の関係上打合せに出席できないなど迷惑をおかけすることもありましたが、温かくフォローをいただくなど、感謝しています。

もちろん、自治会役員の方、ファミールの居住者の方には、多大な感謝をしています。

文末になりましたが、お礼の言葉をもって、締めさせていただきます。ありがとうございました。

子ども会 会長

平素より子ども会活動にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。

10年前には100人以上いた子ども会も、ここ数年で子どもの数は半数以下に減ってしまいました。子どもの数の減少に伴い、役員の確保が厳しくなり、子ども会では人手不足が深刻化しています。来年からは従来の半数の4名で子ども会を運営しなくてはならないという現実と直面しているため、本年度は行事の見直しを行う中、子どもたちが学年に関係なく自分たちの手で思い出を作りたいという気持ちから、子どもが主役の子ども会を目指して活動をしています。

サマーフェスティバルの子ども縁日では、今年は個人店舗として、ボランティアで2店舗出店のご協力をいただくことができました。ありがとうございました。

そして、子どもたちにも子ども店舗としてお店の運営を任せてみました。

看板や名札の作成や景品の下準備など、子どもたちで作り上げ、お店のリハーサルもして本番を迎えました。高学年の子が低学年の子をフォローしながら、スタッフとなって働いてくれ、子どもたちは大きな戦力となってお店を運営してくれました。

子どもたちも多くの住民の方と触れ合い、体験を通して成長に繋がったのではないかと思います。今回の子ども店舗が「子どもの手による子ども会支援事業」に選ばれ、15,000円の支援金を受けることもできました。無事に子ども縁日を終えることができ、多くの方々の支えあっての行事だと実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、10月の西明石まつりにおきまして、少子高齢化に伴い今後子どもみこしの担ぎ手と、太鼓の叩き手の減少が予想されるため、後藤会長を中心に、自治会、おまつりくらぶの皆さまの全面的な協力のもと、新たに子どもみこしが導入されることになりました。

幼児や低学年のお子様でも扱いやすく、小さくて安全なおみこしに変更し、子どもたちにも担ぐ楽しさを味わっていただけたらと思っています。

今後とも子どもたちを温かく見守っていただけますよう、よろしくお願いいたします。

大勢のご来賓の感想をお聞きしました

明石市市民生活局長

8月の最終の土曜日、子どもたちにとっても夏休み最後のお楽しみイベントであるファミリーハイツ明石のサマーフェスティバルに今年もお邪魔させていただきました。

良い天気にも恵まれ、段々と日が沈み、盆踊りの櫓や提灯の灯りが、お祭りの雰囲気を一層醸し出していました。

私が会長からお声掛けいただき、サマーフェスティバルに参加させていただくようになり、5・6年になります。お聞きしますと、このサマーフェスティバルは平成3年から始まり、もう27回を数えるとのこと。

当初から段々とグレードアップし今日に至ったことと存じますが、子ども縁日、ビンゴゲーム、抽選会に餅まき、そして屋台あり、銘酒あり、盆踊りは「ファミリー音頭」で最高潮と本当に盛りだくさんの内容です。

自治会を主体に子ども会、踊りのサークル、屋台は周辺の商店等ともコラボし、敬老席にはボランティアの方々もおられ、多くの皆様の連携・協力の下、子どもからお年寄りまで、みんなが楽しめる地域の夏のイベントとして根付いていることは大変素晴らしいことであり、後藤会長はじめ関係者の皆様の長年の取り組みに衷心より敬意を申し上げます。

そして、今後ともサマーフェスティバルが近隣の皆様の絆を深めるイベントとして末永く続いていくことを心から願っています。



8月26日のファミリーハイツサマーフェスティバルに参加させていただきました。

会場であるマンション前の公園は、大きな櫓や本部のテント周辺に、たくさんの人で賑わっていました。私は仕事柄7月終わりから8月にかけて、各小学校区の夏まつりをみてきましたが、自治会の祭りとは思えないほど賑わいがあり、みなさんが笑顔で楽しんでおられる様子を見て、なんだか懐かしい安堵感を覚えました。

会場に入っていくと、知人の若いご夫婦にお会いしました。なんでも以前は奥さんがこのマンションの住民で、今日は小さい子どもさんをつれて実家のおまつりに来たとのことでした。そうか、このマンションは現代の「ふるさと」なんだ。みんなが帰ってくる場所なんだと、改めて気づかされた次第です。

でも、このコミュニティは自然とできたのではないはずです。住民のみなさん同士の絆を育むため、これまでに様々なご苦労があったことと思います。長い年月をかけて、自治会を中心に話し合い、様々な活動をされてきた結果、連帯感が生まれ、この「ふるさとファミリー」になっていったのだと思います。

ここから引っ越していった方も、イベントにはスタッフとして参加されているとのこと。コミュニティへの強い想いを感じます。これからも末永くみなさんの「ふるさと」であってほしいと願いながら、いっしょにお祭りを楽しませていただきました。心あたまる時間をありがとうございました。

一般財団法人明石コミュニティ創造協会 理事長

この度は、平成29年度ファミリーサマーフェスティバルに参加させていただきました。ありがとうございます。

後藤会長をはじめ、多くの住民の方々が忙しく動いていらっしゃる姿を拝見し、ファミリーハイツの住民力というものを強く感じることができました。

また、祭りの様子を見ていても、大人ではなく子どもが主体的に運営する「子ども緑日」や、住民が構える屋台に加えて地域の商業店舗も出店しているなど、様々な工夫が凝らされており、この行事はファミリーハイツという枠を飛び越え、周辺地域にとってなくてはならないイベントとなっている様子が見てとれました。

現在市内には約500の自治会が存在しており、その規模は大小様々です。規模の小さい自治会では祭りはおろか、行事自体の開催が難しいところも少なくありません。

そうした中でも、約600世帯の方々がお住まいになるファミリーハイツ自治会は市内最大級の規模であり、多くの住民の方々が関わり、素晴らしい広報誌の発行をはじめ、サマーフェスティバルなど様々な住民のための取り組みを進められている姿は、地域におけるまちづくりの最も基礎となる住民力であると実感しています。

今後もファミリーハイツ自治会の発展と住民の皆様の幸せを心からお祈りしています。

引き続き指導をいただきながらともに歩ませていただきたいと思います。感謝をこめてありがとうございました。

一般財団法人明石コミュニティ創造協会 事務職員

この度は、平成29年度ファミリーサマーフェスティバルに参加させていただき、ありがとうございました。

今年も随所に色々な工夫が凝らされ、毎年新鮮な気持ちで、楽しい時間を過ごさせていただいております。

当日、参加されている方々を見てみると、赤ちゃんを連れたファミリーや小さな子どもたちから、お年を召した方たちまで、多くの人たちが会場内を巡っておられるのが目につきました。それに加えて、車いすに乗った方や外国人の方々が盆踊りの輪に加わっている姿が印象的でした。幅広い世代の参加に加え、障がいをもたれた方や外国から来られた方たちも受け入れられる、懐の深いイベントだと改めて実感しました。

「自分たちの地域を、自分たちの手でよりよいまちにする」——もう耳慣れたフレーズのように聞こえるかもしれませんが、実践するのはなかなか難しいことです。しかし、このファミリーハイツ自治会を見てみると、それがまさに実践されているのではないかと感じます。今後も、こういった取り組みを是非とも継続していただき、ファミリーハイツのみならず、花園校区が、明石市がよりよいまちとなっていくことを期待しています。

明石市社会福祉協議会 望海地区担当

サマーフェスティバルの運営に携わられた皆様、本当にお疲れ様でした。私は昨年に引き続き参加させていただきました。とても楽しかったです。ありがとうございました。ファミリーサマーフェスティバルは、子どもから高齢者まで誰もが楽しめるように企画されていることが本当に素晴らしいです。

また、後藤自治会長にお話を聞かせていただくと、「ファミリーから転出したが、この祭りに合わせて帰ってくる人もいる」「成人した子が遊びに来て、この祭りが同窓会のようにになっている」と聞きました。引っ越ししても「帰りたい」と思える居場所がファミリーにはあるのだと強く感じました。

住民同士の関係性が希薄化しつつある中で、大勢の人が集まり顔を合わせる。そこからできる『つながり』もたくさんあると思います。その『つながり』を大切にいただき、自治会内で困った人がいれば助ける。困っていれば助けてと言える関係性を築いていただけたらと思います。ありがとうございました。

貴崎校区まちづくり協議会 会長

会場設営： テント、屋台の配置はうまく考えている。櫓、会場の規模から見ると、提灯がもう少し大きければと思う。

イベントの運営： ファミリー独自の自治会イベントであるので、担当者がそれぞれ責任をもって動いていると思った。

自治会連合の催しでは、なかなか連携がとりにくい。

盆踊り： 子どもを含め踊れる人が多く、役員も一般の参加者もすべての人が楽しんでいる。

総合評： 主催者が自治会であるため、人と人のつながりがあり、一体感がある。

役員を含めみんなが夏祭りを楽しんでいる様子が見てとれる。日本酒の販売には、ビックリ。

ファミリーに夏祭りがやってきた!ということで今年もワクワクしながら参加させていただきました。昼間の天候状態に不安がありましたが、お祭りの始まるころには夏の強い日差しが射ってきて、私が会場に着いた時には模擬店も子ども遊戯コーナーも親子連れの人たちで埋め尽くされていました。5時半に自治会長さまの開催宣言がされるとお祭りムードは一気に高まって、最初のビンゴゲーム大会では大勢の人たちが一喜一憂しています。そして、周りが少し薄暗くなり始めたころに夏祭りの踊りが始まりしました。提灯の明かりに照らされた踊りの輪はお祭り気分を高めてくれます。定番中の定番、ファミリー音頭が流れると太鼓の音も軽やかに調子を合わせて、踊っている人たちにも幾分笑みが膨らんでいるように見えるので不思議です。お祭りの途中で電気が消えるハプニングもありましたが、スタッフの方が手際よく対応されていたのには感心しました。あれは、ひょっとしてドッキリの演出だったのかな?今年は、ファミリーの知り合いの皆さんが増えたので時折、話に夢中になってしまいました。おいしい日本酒とおつまみはしっかりといただきました。ご馳走さまでした。

最後になりましたが、自治会長さまはじめ役員の皆様、スタッフの皆様大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

また、居住者の皆様には楽しいひとときをともに過ごさせていただき深く感謝申し上げます。

来年もまた呼んでください。楽しみにしています。

自治会屋台の銘酒コーナーで大活躍の店長さんから感想と貴重なアドバイスをいただきました。

1. 取り扱ったお酒の種類と売れ行き

- ① 日本酒：浦雪、越乃寒梅、八海山、久保田(干寿)、奥播磨の5種類。
万福なく売れ、7時過ぎ完売。反省会用の越乃寒梅を急遽店頭に並べた。それなりの銘酒をそろえると売れる。仕入れには、もう一段日本酒の好きな人、日本酒に詳しい人の同行が望ましい。
- ② 焼酎：赤兎馬、吉兆宝山
昨年同様、売れ行き悪し。ブームは去った。来年は、オール日本酒にすべきと考える。はじめから焼酎を注文した人は2人のみ。他は、日本酒売り切れのため、やむを得ず焼酎を注文された。

2. その他

- ① 紙コップ：味気ない。白の紙コップは最悪かと…(検尿を連想?)工夫を要す。
- ② パール：クラッシュアイスを砕く時、大きいパールが必要。
- ③ 紙皿：厚みのある紙皿をお盆代わりに使えば、複数杯注文されても一度に持ち運べる。



現場の店長さんの提言から、銘柄の選択や容器などいろいろ工夫をし、自治会肝入りの銘酒コーナーで、日本酒好きなお客様に、より楽しんでいただきたいと考えています。

自治会からのお知らせ

秋祭り(宮入り) ※ハッピを忘れずにご持参ください。

日時:10月15日(日) (小雨決行)

スケジュール:

- (9:00 ~ 神輿をバックに記念撮影をご自由どうぞ)
- 9:30 ~ 受付開始(管理事務所前)
「弁当引換券をお受け取りください」
- 9:45 ~ みこしリハーサル
- 10:00 ~ 出発式
- 10:30 ファミール出発
途中休憩(貴崎コミセン、貴崎自治会館前広場)
- 12:00 ~ 林神社着(昼食)
- 14:30 ~ 宮入り
- 16:00 ~ ファミール帰着、後片付け
- 18:00 ~ 反省・打上げ会(集会室)
※原則お子様の入室はご遠慮願います

西明石まつり ※ハッピを忘れずにご持参ください。

日時:10月21日(土) (小雨決行)

スケジュール:

- 10:45 ~ 受付開始(管理事務所前)
- 11:15 ~ 出発式 新しい子どもみこしお披露目
- 11:25 ~ みこしリハーサル(移動練習)、子ども太鼓お披露目
- 11:55 ファミール出発
- 12:20 マックスバリュ到着
- 12:50 マックスバリュ出発
- 13:15 ~ くら寿司前から商店街に入場
- 14:15 ~ 駅南広場到着後、広場で練り合わせ
休憩(食事、おやつ、飲み物) 幼児は解散
- 15:00 みこしパレード開始
- 16:20 子どもみこし帰路
- 18:00 大人みこしファミール到着、後片付け
- 18:30 ~ 反省・打上げ会(集会室)

10月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
			「ゆずります」「ゆずって下さい」掲示			花園幼稚園 運動会
8	9	10	11	12	13	14
子ども会廃品回収	粗大ごみ申込締切		不燃ゴミ			高齢者支援プロジェクト
15	16	17	18	19	20	21
秋祭り (林神社宮入り)		小型家電回収 天ぷら油回収 9:30~11:00 サンライフにて	資源ゴミ	シニアクラブ昼食会		西明石まつり 粗大ゴミ
22	23	24	25	26	27	28
		ふれあいサロン	不燃ゴミ	「ゆずります」「ゆずって下さい」申込受付		
29	30	31				
子ども会廃品回収						

11月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			資源ゴミ	「ゆずります」「ゆずって下さい」掲示		
5	6	7	8	9	10	11
	粗大ごみ申込締切	フリーサロン	不燃ゴミ			文化祭 高齢者支援プロジェクト
12	13	14	15	16	17	18
文化祭			シニアクラブ昼食会 資源ゴミ			クリスマス ライトアップ 粗大ゴミ
19	20	21	22	23	24	25
クリスマス ライトアップ 子ども会廃品回収		小型家電回収 天ぷら油回収 9:30~11:00 サンライフにて	不燃ゴミ			
26	27	28	29	30		
	「ゆずります」「ゆずって下さい」申込受付					
		ふれあいサロン	資源ゴミ			

不要になった本誌は燃やせるゴミではなく子ども会の廃品回収に雑誌として出してください。

ファミリーハイツホームページ <http://www.famille.akashi.hyogo.jp/>